



(橋杭岩)

和歌山県最南部の串本町は本州最南端に位置し、世界有数の暖流である黒潮の影響を強く受け、美しいテーブル珊瑚群落の間を色鮮やかな熱帯魚が泳ぎ、マリンド이버の間で人気の高いマリンスポーツのメッカで、テーブルサンゴの群生地としては世界最北限にあたります。この串本町には、奇岩の景勝地もあり、中でも、「橋杭岩」はそそり立つ大小40余りの柱状の岩の列が、海岸から海を挟んだ紀伊大島へ向かって約850mにわたって並んでおり、まるで橋脚が並んでいるように見えます。この奇岩は、昔、弘法大師が大島まで架けようとした橋の杭だという伝説が語り継がれています。

温泉地も数多くあり、龍神温泉は「日本三大美人の湯」と謳われる泉質で、肌がスベスベになると特に女性に人気があります。南紀白浜温泉は、白い砂が美しい白良浜やパンダのいる（飼育数日本一！）アドベンチャーワールドがあり、更に円月島や三段壁などの景勝地も数多い関西を代表するリゾート地です。本宮温泉郷は、世界遺産・熊野本宮大社のお膝元にある温泉郷で、特に川湯温泉は、川原のどこを掘っても温泉が湧き出る珍しい温泉地で、冬期には川の流れを塞ぎ止めて巨大露天の「仙人風呂」が開設されます。また、

勝浦温泉は世界遺産・熊野那智大社や那智大滝が近くにあり、ホエールウォッチングも楽しめる、魅力いっぱいの温泉地です。

最近のホットなスポットとしては、和歌山市の海岸沖に浮かぶ「友ヶ島」があります。この島には太平洋戦争時の砲台跡などが残されており、その建造物が朽ちて自然に埋もれているレトロな風情が、アニメ映画「天空の城ラピュタ」の実写世界のように話題になっています。

そして、もうひとつ。和歌山県には猫が駅長（名前はたま駅長）を務める鉄道があり、「いちご電車」や「おもちゃ電車」といった一風変わったデザイン・仕様の電車も走っています。

特産品に関しては和歌山県は「果樹王国」といわれ、梅、みかん、そして柿は生産量日本一で、そのほかにも、キウイフルーツ、桃、びわなども生産されています。山椒の生産量も日本一で、全国シェアの約8割を占めています。また、漁業も盛んで、マグロ、カツオ、ハモ、太刀魚、クエなどが有名です。ちょっと珍しいものでは、麻雀牌の生産量も日本一です。



(和歌山城)

和歌山の裁判所

和歌山県内には、和歌山市に地方裁判所、家庭裁判所の本庁と簡易裁判所があり、田辺市、御坊市、新宮市にそれぞれ



(和歌山地家裁・本庁舎)

支部と簡易裁判所，かつらぎ町，橋本市，湯浅町，串本町に簡易裁判所（かつらぎ町については家裁出張所を含む。）が設置されています。

本庁は，徳川御三家のひとつで，テレビドラマ「暴れん坊将軍」でおなじみの八代将軍徳川吉宗が治めた紀州藩和歌山城に隣接しています。本庁庁舎は平成26年1月に新営されたばかりで，その外観は「歴史と緑につつまれた日のひかりを感じる裁判所」という設計コンセプトのもと，格子やよしずといった日本建築のデザインを取り入れ，いぶし瓦をイメージした外壁や窓に高反射ガラスを採用したことにより，和歌山城やその周辺の緑に溶け込み，城下町に相応しい落ち着いた佇まいとなっています。また，部署ごとにフロアを分け，和の色合いを取り入れたフロアカラーに色分けもすることで，より来庁者が利用しやすい工夫をしています。

広報活動

和歌山地方裁判所・家庭裁判所では，年に3回，春の憲法週間，夏休み期間，「法の日」週間にそれぞれ広報行事を開催しています。

また，日常の広報活動として，裁判員裁判法廷の見学や刑事裁判の傍聴等の申込みを常時受け付けており，県内の小中

高生や大学生，一般の方々など多くの方々に参加していただいています。

平成26年度は春の憲法週間行事において平成26年1月に竣工した新庁舎の見学ツアーを，夏休み期間には，小学生を対象とした刑事模擬裁判「キッズ法廷」を開催しました。

また，秋の「法の日」週間行事においては，普段とはひと味違う企画に挑戦し，「Le Tour de “court” — ツール・ド・コート — ～『裁判所の謎』を解く旅～」と題して，春に開催した庁舎見学会に，巷で人気の謎解きイベントの要素を盛り込んだ広報行事を開催しました。事務局発の企画ですが，当日の主役は裁判部の若手職員。事務局と裁判部で調整を行い，手続説明や出題する「謎」の内容を練りこんだ結果，参加者から「謎解きを通して裁判所のことを楽しく学べた」「作り込まれていておもしろかった」という声を頂戴しました。

これからも，「身近な裁判所」を目指して，多くの方に興味をもっていただけるような行事を企画していきたいと思っています。



(広報行事・Le Tour de “court” — ツール・ド・コート — ～「裁判所の謎」を解く旅～)